

冬の国際交流月「第一回 外国語スピーチ・コンテスト」開催！

第一回スピーチコンテストが12月15日に開催され、熱のこもった日本語弁論大会、英語暗唱大会となりました。結果は以下の通りです。

日本語弁論大会	優勝	邵 美雪(日本文化学科)
	準優勝	趙 洋(文化情報学科)
	敢闘賞	李 喃(文化情報学科)
	敢闘賞	タンズカル・カマラ(文化情報学科)
	敢闘賞	馬 暁明(文化情報学科)
英語暗唱大会	優勝	村上久美子(工芸文化学科)

「日本に暮らして考えたこと 一日本人のすみません」

日本語弁論大会 優勝者 邵 美雪さん

私達人間は、人や物の好き嫌いが沢山ありますが、皆さんは好きな言葉、嫌いな言葉はありますか。私は好きな言葉が沢山ありますが、嫌いな言葉もあります。嫌いな言葉といえば、日本人の「すみません」「ごめんなさい」などの謝る言葉が大嫌いだったことがあります。でも今は、そう思っていない。今日は、そのことについてお話ししたいと思います。

日本に来たばかり頃、日本の習慣や文化についてよく知りませんでした。ある日、電車に乗ったら込んでいて、隣の人にぶつかってしまいました。「すみません」と言おうと思ったら、相手が先に「すみません」と言ってくれました。私は慌てて、恥ずかしく思いながら「大丈夫です。こちらすみませんでした。」と返事をしました。でも、心の中で「あの人は、自分が私にぶつかったと勘違いしたのだろうか?」とちょっと不思議に思いました。(中略)

ある日のこと、私がアルバイトをしているコンビニに「タバコありますか」と尋ねるお客さんが来ました。その時店長さんは「こちらでは、タバコは置いてないですよ。申し訳ございません。」と言いながら深く頭を下げました。それを見ていた私はとてもびっくりしました。ここは雑貨店じゃないんだから、何でも扱ってるわけではないでしょう。何でそんなに謝るの?日本人は口だけだ!日本人は偽りの謝罪をするんだと私はその時思いました。中国人は何でも率直に、ストレートにします。物事が正しいなら正しいと言いますし、違うなら違うと言います。日本人のように、何にでも「すみません」と言ったり、遠まわしに物事を言ったりはしません。日本人の「すみません」は、人間として自然な感情や素直な気持ちを隠して、偽りばかりだと思いました。そして、日本人の「すみません」が嫌いになりました。

日本に来てから一年後、初めて中国に帰りました。日本の偽りの社会に暫くお別れをして、懐かしい両親や友達が待つ率直でストレートな国、中国へ帰りました。帰る途中のバスの中でのことです。喧嘩騒ぎがありました。耳を傾けて話を聞いてみると、喧嘩をしている二人は、どちらがどちらにぶつかったか、どちらが謝るべきかということについて口論しています。

その時、ふっと何か分かりました。こんな場面は中国では珍しいことではなく、どこへ行っても、よくあることです。でも、日本にいる一年間には、こんなことはあまりありませんでした。日本人はいつも「すみません」と先に相手に言います。本当は誰のせいか、誰も気にしないのです。言われた方も、自分が悪い時も悪くない時も「いえいえ、こちらこそすみませんでした」という言葉を相手に返すので、ケンカになるわけがありません。ああ、そうか「すみません」はお互いの気持ちを荒立てない言葉なのか。だからこのような平和で和やかな社会になるのか。その時私は「すみません」の本当の意味が分かりました。

それから、私はどこへ行っても、何があっても、日本人のように「すみません」を先に口に出すようになりました。お互いが謙虚になって、礼儀正しくなれば、和やかな社会にならないわけがないでしょう。これからも、日本の文化の良いところをどんどん取り入れていきたいと思っています。

中国人留学生による中国語教室

国際交流センターによる初の地域交流プログラムとして、2007年10月～12月の間に全9回で実施しました。受講生である地域住民の方々からは、「留学生の発音で本場中国語が聞けて良かった」「中国そのものに親しみが持てた」などの感想が寄せられました。今年度も継続します。



◀◀中国語教室の様子▶▶

2007年度留学生芸術文化鑑賞会

留学生24名と引率者2名の総勢26名で、9月30日「はとバス定期観光ツアー」に参加しました。NHKスタジオパークの見学に始まり、浅草見物、隅田川下りなどを楽しみ、東京の様々な顔を再発見しました。



◀◀浅草・雷門にて▶▶



国際交流センター構成員より一言

国際交流センター員

小野真理子 人間生活学研究科

国際交流センターは、空飛ぶ小鳥に例えるなら“止まり木”です。誰でも気軽に立ち寄れる場、人と出会い、自分を表現し、多様な知見を学べる場です。

横山弥生(センター長) 家政学部家政学科

個性豊かな仲間と交流を深め、友情を育み、平和を願う友好の輪がこのキャンパスから社会へ広がることを願っています。

花田朋美 家政学部家政学科

「こんな時、お国ではどうするの?」と身近なことからおしゃべりしてみてください。新しい発見があるはずですよ。

細淵昌美 家政学部住居学科

各種の企画・イベントには、留学生も日本人学生も参加して盛り上げてほしい。また、皆さんのアイデアをお待ちしております。

新開よしみ 家政学部児童学科

国際交流センターもいよいよ3年目に入ります。留学生と日本人学生と教職員が出会い、伝え合い、理解し合う場や活動をさらに充実させていきましょう。

森朋子(副センター長) 人文学部日本文化学科

一人の時間は思考を深め、人との交流は人生を豊かにしてくれます。大学時代には、両方の時間を大切にしてください。新しい出会いは、国際交流センターが支援します。

山口智子 人文学部工芸文化学科

留学生も日本人の学生も、みんな“I ♥ Kasei Gakuin”になってほしい。思い出がいつも笑顔であってほしい。そのお手伝いができれば幸いです。

中町美佐子 人文学部人間福祉学科

国境なき日が来ればどんなに素晴らしいことでしょう。それを実現する第一歩は国を超えての語り合いと相手を理解しようという心意気と思うのです。

畷部典子 人文学部文化情報学科

異文化交流には、異文化に関わろうとする「好奇心」が必要です。身近な異文化体験として国際交流センターの活動に参加してみてください。

鈴木元久 短期大学

人と人の心のつながりに国籍や文化の違いはないと信じ、またかくあらねばならないと思っています。同じキャンパスでともに学べることは素晴らしいことだと思います。

事務局・学生課

平出和子 学生課長

各種の行事やイベントにより多くの皆さんに参加してもらい、留学生と日本人学生との交流の場のお手伝いができればと思っています。

国際交流センター室

神小柴みき

異文化交流は難しいことではありません。お互いが誠実に「違い」を「楽しむ」ことができれば、それでOKです。

奈良安希子

国際交流と聞くと緊張してしまうかもしれませんが、その経験は必ず財産になります。まずは友人を持つなど、身近な国際交流から始めてみてください。

国際交流センター2008年度行事

4月 5日(土)・7日(月) 国際交流センター・バザー“100円市”

場所:国際交流プラザ

時間:5日13:00~16:00 7日10:00~16:00

4月 4日(金) 留学生(新入生)オリエンテーション

4月 16日(水) 留学生パーティ(懇親会)

場所:国際交流プラザ

時間:16:20~17:50

*留学生だけでなく、どなたでも大歓迎です。お気軽にご参加下さい。

6月 夏の国際交流月

テーマ:「モンゴルに触れる」

9月 留学生のための芸術文化鑑賞会

12月 冬の国際交流月

テーマ:「外国語でスピーチを!第2弾」

外国語スピーチ・コンテスト開催(日本語弁論大会・外国語暗唱大会)

*いずれも詳細は学内掲示等でお知らせします。

英語サロンのお知らせ

英語で楽しくおしゃべりしたり、ゲームをしたりするサロンです。申し込みは不要です。お気軽にご参加下さい。

日時 金曜日12:20~12:50 場所 国際交流プラザ

担当 マーク・ルイス先生 (初回4/18)

各募集のお知らせ

◆言語チューター

中国語、韓国語、日本語を学びたい学生が、それらの言語を母語とする学生と1対1で勉強する制度です。「習いたい人」「教えたい人」の両方を募集します。「習う人」の応募資格は、日本語の場合のみ、学部1年および2年に在籍する留学生に限られます。「教える人」の応募条件は以下の通りです。

中国語:中国語を母語とする学生

韓国語:韓国語を母語とする学生

日本語:日本語を母語とする日本語教員養成コース履修生、

国語科教員免許課程履修生、日本語ゼミ生

◆科目チューター

学部1年および2年に在籍する留学生のための制度です。履修に困難が生じた際に、同じ科目を履修している(または履修したことがある)学生を科目チューターとして、一緒に勉強することができます。

◆日本語会話パートナー

日本語を母語とする学生と留学生が自由に交流するために、パートナーを紹介する制度です。

◆国際交流会

日本人学生と留学生が一緒に活動し、会員同士の親睦を図るとともに、国際交流に関するイベントや行事の企画・運営をします。昨年度は、トラップ大会、いろいろな国のお弁当が楽しめる「お弁当交換会」、大学祭での「春餅」の販売などをしました。

◆モンゴルの子ども達への手紙

夏の国際交流月のイベントとして、モンゴル・ウランバートルの学校で日本語を習う6歳から18歳の児童・生徒達に手紙を送ります。写真に簡単な日本語を添えて、日本の様子を知らせてみませんか。

各募集の申し込み方法

4月18日(金)までに、所定用紙で国際交流センター室へお申し込み下さい。ただし、科目チューターは、サポートが必要になった場合いつでも申し込み可能です。